

万防時報

2014年9月10日 第17号

平成26年度理事会及び通常総会・シンポジウム報告

第1回理事会



本年度第1回理事会が5月30日(月)15:15~17:00に高千穂交易株7階大会議室に行われました。理事総数29名に対し、出席19名(委任状9名)で、平成26年度通常総会案書について話し合われました。例年総会同日に行われていたが、審議時間を十分に確保するために、今回は事前に行われました。

- ①第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算報告
- ②第2号議案 平成26年度事業計画及び収支計画書
- ③第3号議案 調査結果による提言
- ④第4号議案 役員の異動

平成26年度通常総会

平成26年6月18日に平成26年度通常総会が主婦会館プラザエフ9階スズランで行われ以下の内容が全会一致で承認されました。

1. 要領

- ①日時:平成26年6月18日(水)14:00~19:30
- ②会場:主婦会館プラザエフ
- ③席者数:出席51名、委任状13名合計64名
会員総数104名の2分の1以上となり、平成26年度通常総会は成立しました。

2. 第1部 平成26年度通常総会:14:00~14:45

<9階スズラン>

- ①開会 ②理事長あいさつ ③議長選出
- ④議案審議 1)議長の選出

司会より、河上和雄理事長が体調不良により、出席出来なくなったため、竹花副理事長を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。

(2)第1号議案 平成25年度事業報告・収支決算報告

議長の指示により、平成25年度事業報告を議案書に基づいて、平成25年度事業実施の重点を佐藤理事・調査研究事業を加藤委員長・建議提言事業を佐藤理事・普及推進事業・教育研修事業を若松委員長・情報収集・提供活動・組織の動きを山村委員長より、次いで、仮認定に向けての取組み・収支決算報告は佐藤理事が説明をし、更にこの報告に対して監事の渡部喬一氏の監査を受け、渡邊喬一氏から監査報告が

なされ、平成25年度事業報告及び収支決算報告が提案された。全員異議なくこれを承認した。

(3)第2号議案 平成26年度事業計画及び会計収支予算の提案

議長の指示により、平成26年度事業計画及び会計収支予算書を議案書に基づいて、佐藤理事が説明し、平成26年度事業計画及び会計収支予算書が提案された。

全員異議なくこれを承認した。

(4)第3号議案 ネット処分に関する提言の提案

議長の指示により、若松委員長が1)第3号議案 ネット処分に関する提言に関して提案された。

全員異議なく賛成された。

(5)第4号議案 役員の異動の提案

議長の指示により、佐藤理事が)理事の山村秀彦氏が戸田秀雄氏に、小豆沢幸輝氏が井出陽一郎氏に、住野公一氏が山下睦氏に交代する件が提案された。

全員異議なくこれを承認した。

3. 第2部 調査報告: <9階スズラン>

①「万引に関する全国青少年意識調査に関する分析」

14:45~15:00

全国12,000人の青少年の声が訴えること

北海道大学名誉教授 瀧川 哲夫様

②「全国万引被害実態調査」

15:00~15:15

お店が発信する万引をさせないためのメッセージ

調査研究委員長 加藤 和裕

③高齢者万引対策、防犯画像に対する調査研究、集団窃盗に関する調査研究

3つの小委員会の中間報告

15:15~15:30

理事

佐藤 聖

4. 第3部 シンポジウム

15:40~17:45

基調報告:集団窃盗に関する事例発表

群馬県警察本部刑事部捜査第三課課長補佐 瀬戸 睦様

パネルディスカッション

コーディネータ…竹花副理事長



- パネリスト：・群馬県警察本部生活安全企画課長 佐伯和則 様
 ・島根県警察本部犯罪抑止対策係長 木田真人 様
 ・ウエルシア関東棟保安・渉外担当部長 岡田 茂生様

5. 第4部 情報交換会 < B 2階クララテ > 18:00~19:30



補足資料：第3号議案-（2）

ネット上の不正品流通防止に関する提言

古物の売買は盗品等の不正品の処分市場として利用されやすい側面があり、古物取引に関わる事業者にとってその防止策を講ずることは恒常的な重要課題となっている。古物取引を行う実店舗においては、自主ルールを導入する等して本人確認や不正品のチェックを厳格に行う努力をしているが、一方、オークションを始めとするネット上の古物取引が不正品処分に利用されている可能性は否定できない。

また、ITリテラシーが低い人でも容易に出品可能なスマホ用アプリ等も登場し、古物の売買は今後ますます活況になっていくものと想定されるが、同時に、出品する際のハードルが低くなることによる不正品処分の拡大が懸念される。

以上のような環境を踏まえ、ネット上における不正品の流通を防止すべく、以下の提言を行いたい。

⇓
 提言-

- インターネットオークションにおける不正品流通の監視体制強化
- 品触れへの対応等、小売業界・警察との情報交換体制の構築
- 業界による盗品売買等防止団体の設立

平成26年度新事業より
 総務委員会 3 小委員会 進捗報告

1. 高齢者万引対策に関する調査研究

(1) 概要

警視庁調査で昨年、青少年の構成比を上回った高齢者による万引犯罪の態様と対策に関して、主として食品スーパー企業の協力を得て調査研究を行なっている。

(2) 調査研究体制

総務委員会の下に「高齢者万引対策に関する調査研究」小委員会を設置、事務局で準備した「基礎委員」と、万防機構内から募集した「公募委員」によって調査研究を進めている。

(3) 調査研究方法

主として食品スーパー企業の協力を得て、訪問面接調査を行なっている。調査結果をもとに小委員会において、実態の分析、防止対策の検討、追加調査実施の検討、課題の抽出、建議提言のとりまとめ等を行なう。

(4) 実施日程

- ①委員募集：平成26年4月上旬
- ②委員会準備：4月下旬～5月上旬
- ③委員会開催は5月下旬より5回開催予定、毎月実施。

(5) その他

本調査研究は警視庁官民合同会議と連携して行なうこととし、調査経過は随時、警視庁・高齢者万引き調査・研究班と情報共有する。

2. 防犯画像の取扱いに関する調査研究

(1) 概要

防犯カメラの急速な普及に伴い、近時、取扱いに関するルール化の必要性が高まっているカメラ映像、顔面認証・動作認証等について、問題点を整理し、課題をとりまとめる。

(2) 調査研究体制

総務委員会の下に「防犯画像の取扱いに関する調査研究」小委員会を設置、事務局で準備した「基礎委員」と、万防機構内から募集した「公募委員」によって調査研究を進めている。

(3) 調査研究方法

主として防犯カメラ・防犯機器等の製造販売企業実務家、警備業関係者、法曹界関係者、グループ内に複数の小売業態を擁する流通企業グループ等の協力を得て、訪問面接調査を行なっている。調査結果をもとに小委員会において、実態の分析、問題点の整理、課題の抽出を行い、防犯画像利用ガイドラインの試案を取りまとめる。

(4) 実施日程

- ①委員募集：平成26年4月上旬
- ②委員会準備：4月下旬～5月上旬
- ③委員会開催は5月下旬より5回開催予定、毎月実施。

3. 集団窃盗等の情報の取扱いに関する調査研究

(1) 概要

集団窃盗等、外国人を含む組織的な万引犯罪に関して、欧米に先行事例のあるようなデータベースの構築の必要性を検討し、それに伴う情報の取扱い一般について、問題点を整理し、課題をとりまとめる。

(2) 調査研究体制

総務委員会の下に「集団窃盗等の情報の取扱いに関する調査研究」小委員会を設置、事務局で準備した「基礎委員」と、万防機構内から募集した「公募委員」によって調査研究を進めている。

(3) 調査研究方法

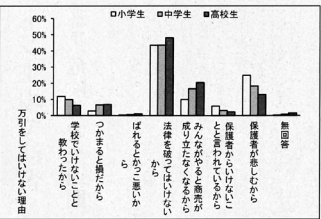
主として、欧米の防犯データベース整備事情に詳しい調査機関、警察関係者、警備業関係者、法曹界関係者等の協力を得て、訪問面接調査を行なう。調査結果をもとに小委員会において、問題点の整理、データベース構築の条件整備、課題の整理を行なって、建議提言を取りまとめる。

(4) 実施日程

- ①委員募集：平成26年4月上旬
- ②委員会準備：4月下旬～5月上旬
- ③委員会開催は5月下旬より5回開催予定、毎月実施。

万引きに関する全国青少年意識調査 ①

NPO法人全国万引犯罪防止機構 協力: 文部科学省



NPO法人全国万引犯罪防止機構は、文部科学省の協力を得て、万引きに関する全国青少年意識調査を実施した。調査は、小学生、中学生、高校生を対象に、万引きに関する意識や考え方を調査した。調査の結果、万引きは犯罪である、悪いことである、法律違反である、他人の権利を侵害する、社会問題である、経済問題である、環境問題である、文化問題である、健康問題である、教育問題である、政治問題である、宗教問題である、国際問題である、と答えた割合は、小学生から高校生へと順に高くなっていくことが確認された。

調査の結果、万引きは犯罪である、悪いことである、法律違反である、他人の権利を侵害する、社会問題である、経済問題である、環境問題である、文化問題である、健康問題である、教育問題である、政治問題である、宗教問題である、国際問題である、と答えた割合は、小学生から高校生へと順に高くなっていくことが確認された。



パネルディスカッションを行う

「高年齢者の万引き」に関する調査結果が明らかになった。調査によると、高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。また、高年齢者の万引きは、主に個人商店や小売店などで行われていることが確認された。

調査の結果、高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。また、高年齢者の万引きは、主に個人商店や小売店などで行われていることが確認された。

高年齢者万引きや集団窃盗が課題

通常総会 調査報告実施



高年齢者万引きや集団窃盗が課題

高年齢者の万引きや集団窃盗が、近年増加傾向にあることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。また、高年齢者の万引きは、主に個人商店や小売店などで行われていることが確認された。

高年齢者の万引きや集団窃盗が、近年増加傾向にあることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。また、高年齢者の万引きは、主に個人商店や小売店などで行われていることが確認された。

2014年(平成26年)6月25日(水) (2)

盗品のネット流通へ提言

平成26年度通常総会開催

全国万引犯罪防止機構

盗品のネット流通が社会問題となっている。盗品のネット流通は、犯罪者の利益を拡大し、被害者の被害を拡大している。盗品のネット流通を防止するためには、盗品のネット流通を規制する必要がある。

盗品のネット流通が社会問題となっている。盗品のネット流通は、犯罪者の利益を拡大し、被害者の被害を拡大している。盗品のネット流通を防止するためには、盗品のネット流通を規制する必要がある。

2014年(平成26年)6月25日(水) (2)

高年齢者の万引増加 防止へ取り組み

全国万引犯罪防止機構

高年齢者の万引増加 防止へ取り組み

高年齢者の万引きが増加していることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。高年齢者の万引きを防止するためには、高年齢者の万引きを規制する必要がある。

高年齢者の万引きが増加していることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。高年齢者の万引きを防止するためには、高年齢者の万引きを規制する必要がある。

2014年(平成26年)6月25日(水) (2)

高年齢者の万引増加 防止へ取り組み

全国万引犯罪防止機構

高年齢者の万引増加 防止へ取り組み

高年齢者の万引きが増加していることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。高年齢者の万引きを防止するためには、高年齢者の万引きを規制する必要がある。

高年齢者の万引きが増加していることが調査で明らかになった。高年齢者の万引きは、主に衣類や食品、日用品などが増えている。高年齢者の万引きを防止するためには、高年齢者の万引きを規制する必要がある。

警備保障タイムズ 7月1日号

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation172.pdf>

警備保障タイムズ 7月1日号

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation172.pdf>

警備保障タイムズ 7月1日号

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation172.pdf>

セキュリティ産業新聞 6月25日号

「盗品のネット流通への提言」

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation115.pdf>

セキュリティ産業新聞 6月25日号

「盗品のネット流通への提言」

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation115.pdf>

セキュリティ産業新聞 6月25日号

「盗品のネット流通への提言」

<http://www.manboukikou.jp/pdf/situation115.pdf>

画像利用要件、今秋提言

業種間、企業内共有を検討

全国万引犯罪防止機構



竹花豊副理事長



EIZO株式会社

【東京府警】「東万引防止機構」が、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

セキュリティ産業新聞

発行所
 セキュリティ産業新聞社
 〒101-0055
 東京都千代田区神田神保町1-11-1
 電話 03-5282-8888
 FAX 03-5282-8992
 購読料1年 45,000円
<http://www.secc354.co.jp/>

万引防止機構、第10号掲載
 大塚区・平成26年度時給公開
 ショップ・家族向けの新しい追加
 5面
 6面

平均ロスは0.70%

高齢者万引き犯突出、情報共有化の傾向

全国万引被害実態調査

【東京府警】「東万引防止機構」が、万引き犯の年齢が高齢化する傾向を指摘し、万引き防止対策として、万引被害実態調査を共同して実施する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

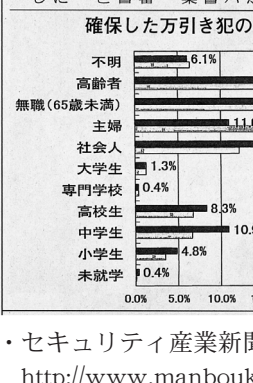
万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。

万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。万引防止機構は、万引対策として、画像利用の要件を提言する。



平成26年度万引防止啓発のための壁新聞の報告

昨年に引き続き、今年も6月に万引防止啓発のための壁新聞を中学校と信用金庫に配布いたしました。配布先の皆様より多くの反響をいただいております。一部を紹介いたします。

<中学校>

- ・昨年は何かの都合で本校には届きませんでした、本年

は来年3月まで掲示いたします。(京都府の中学校)

- ・昨年は壁新聞の効果が顕著に現れ、万引事故は皆無になりました。ぜひ、校舎建て替えのため、8部郵送してください。(都内の中高一貫校)
- ・本校でも万引に係わる生徒が多数にのぼります。集団、個人、場所、時間、手口も多様化しており、改善の兆し

が見えません。エスカレートして、傷害事件などに発展しないか、危惧されます。未然防止の啓発がまずできることと感じています。今回のポスターはわかりやすくありがたいです。(大阪府の中学校)

<信用金庫>

- ・今から各支店に配布します。青少年の非行防止だけでなく、成人や高齢者の万引対策になると思います。(静岡県信用金庫)
- ・掲示を見た本屋さんから壁新聞をうちにも掲示したいと相談されたので、余分の1枚を分けてあげていいですか。(岐阜県信用金庫)

<http://www.manboukikou.jp/html/situation107.zip>

※コピーや印刷してご利用になる場合は、万防機構・事務局にご一報ください。



活動報告 & トピックス

■2014.2.15 2月10日(月)に埼玉県販売防犯連絡協議会主催の万引き防止セミナーがイオンモール春日部店で開催されました。大雪で足元の悪い中、約40名の方々がセミナーと現場の店舗診断に参加されました。講師は機構の普及推進委員が務めました。

■2014.2.26 道の駅庄和(指定管理者庄和商工会)様より万引防止年間チャートを活用されているお写真をいただきました。このように各地のいろんな店舗で活用されています。



■2014.2.26 2月25日(火)の委員長会議の席上で竹花副理事長より、(株)セブン&アイ HLDGS. 総務部グループ 渉外 伊藤建史様に万引防止年間チャート制作記念プレートが贈られました。この後、店舗での具体的な万引対策を(株)セブン&アイ HLDGS. 総務部グループ 渉外 シニアオフィサー 成田 庄二様よりお話をいただきました。なお、万引防止年間チャート制作小委員会の委員全員に記念プレートが贈られる予定です。



■2014.2.27 2月26日(水)旭川市大雪クリスタルホールで北海道万引防止ウィーブネットワーク主催の平成25年度万引き防止セミナーが開催され100名以上の参加があり

ました。参加者のご要望で当日のレジュメをHPにアップしました。講師は普及推進委員が務めました。

■2014.3.5 2月27日(木)公益社団法人福井県防犯協会主催の「万引き犯罪防止セミナー」が福井県国際交流会館で行われ、約70名の方々が参加されました。普及推進委員が講師を担当しました。翌日、福井新聞と日刊県民福井の朝刊にセミナーの内容が掲載されました。

■2014.3.5 2月28日(金)福島県警察本部主催の「万引き防止アドバイザー研修会」が南東北総合卸センター組合会館で開催され、約100名の万引き防止アドバイザーの方々が参加されました。普及推進委員が講師を担当しました。

■2014.3.5 All Aboutで「万引対策情報」が継続的にアップされています。今回は「子供自身が考える『万引き対策』とは」です。保護者だけでなく店舗関係者や巡回ボランティアの方々にも参考になるかと思えます。【関連サイト】「商店街における万引きに関する調査」(東京都民・商店の実態・意識調査結果報告書)も紹介されています。

■2014.3.5 2月27日(木)毎日新聞で「ベトナム航空CAに逮捕状 盗品受け取り密輸疑い 警視庁、仲介女ら逮捕」が報道されました。多くのドラッグストアが横行する窃盗団に大変困っています。機構としても、新規事業として、窃盗団に関する情報共有の仕組みを調査・研究することが前回の臨時総会で承認され、現在、委員会の立ち上げを準備しております。その後も関係者の逮捕が続いています。

■2014.3.11 3月5日(水)東京都商店街振興組合連合会(略称:東振連)より、「商店街における万引防止のための調査～東京都の小学校・中学校・高等学校の教諭万引きに関する意識調査研究報告書～」が発表になりました。13頁が全体のまとめ、14ページが指針となっています。3月5日号の都振連ニュースのトップ頁でも内容の紹介がされています。報告書及び東振連ニュースは、東振連HPで閲覧できます。

■2014.3.18 3月10日(月) くまざわブックチェーン協同組合様より、「万引損害請求」での集金分(平成23年～25年分)として、286,664円を寄付いただきました。年度末の財政厳しい折に事務局としては非常にありがたいことでもあります。大事に活用させていただきます。(事務局長)

■2014.3.24 昨年に引き続き、2月24日(月)の「週刊教育資料」に福井事務局長のインタビュー記事が掲載されました。今回は「万引犯罪に関する全国青少年意識調査」についての詳細説明になります。

■2014.3.28 調査研究委員会の加藤委員長(本機構理事)と会員の豊川奈帆さんが共同執筆された「万引きさせないお店にする法」の中国語版が出版されました。下記のように、万引を許さない姿勢を国内外の方々に強くアピールする内容となっております。



■2014.3.28 当機構の会員の豊川奈帆さんが書店向けの「万引き防止対策」の書籍を出版されました。作業姿勢の向きで万引きを防ぐことができるなど、興味深い内容がわかりやすく解説されています。ご関心・ご希望の方は、明日香出版社(Tel 0120-00-3855)にお問い合わせください。

■2014.3.28 3月26日(水)に開催された委員長会の中で、大手ドラッグストアチェーンの警備責任者をお招きし最近の万引対策の状況をお聞きしました。予想以上に深刻な事態だということを確認し、今後の対応策を話し合いました。

大手ドラッグストアチェーンの警備責任者より「現在、大量万引き窃盗団として把握しているのは、継続的に繰り返しているグループが3グループ、その他時々現れるグループが5～7グループあり、1回で多い時で50万円、少ないときでも5～6万、平均すると10万円前後の被害があり、情報を各店舗に送り警戒しているところであるが、これらグループの情報はA社と交換するもの他からの情報が得られなく、大量窃盗団のグループの活動状況が把握できないでいる」



■2014.4.2 本日、会員に対し「3つの新規小委員会」の委員募集をEメールで行いました。

- ①高齢者万引対策に関する調査研究小委員会
 - ②防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会
 - ③集団窃盗等の情報の取扱いに関する調査研究小委員会
- これらの小委員会設置は1月27日の万防機構の臨時総会で

決議されたものです。

■2014.4.8 読売新聞4月5日の「客の顔情報 無断共有」という記事の中で、当機構が『「ルール作りが必要」と指摘している』という内容が掲載されました。
<本文一部抜粋>

「スーパーやコンビニなどの防犯カメラで自動的に撮影された客の顔が顔認証で解析され、客の知らないまま、顔データが首都圏などの115店舗で共有されていることが4日分かった。万引きの防犯対策のためだが、顔データを無断で第三者に提供することはプライバシー侵害につながりかねず、専門家や業界団体は「ルール作りが必要」と指摘している」

この課題は、5月からスタートする「防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会」の中で協議していきます。

■2014.4.16 平成26年4月11日(金)高島平区民館ホールにて、出前型万引き防止のための防犯責任者養成講座が行われ、当初予定の倍の47名が参加されました。機構からは普及推進員を講師に派遣しました。写真は「迷惑行為への声かけ実技」に見入る参加者の様子です。



■2014.4.27 4月23日(水)委員長会議にて、昨年6月に逮捕された「化粧品を大量に摂取する広域万引き事件」について、群馬県警察本部のご担当者よりお聞きしました。捜査を直接担当された方からのお話でしたので、4月4日(金)にお聞きした内容よりも詳しい犯行状況が聞けました。犯人の供述として「万引きしにくいチェーンと取り(盗り)放題のチェーンがある」とのことでした。

いま群馬県の全警察署で、小売業者向けに万引対策会議を開催し、それらの情報が共有されています。



■2014.4.27 4月21日(月)奈良県西和警察署で万引き被害防止対策会議が行われ、近隣の商業施設の関係者やコンビニ経営の方が参加されました。高齢万引者、特に女性の検挙比率が高くなっており、各店舗の対策と巡回ボランティアとの連携が話し合われました。

■2014.5.9 千葉県発の2冊の良書①「万引き防止対策ガイドライン」と②「店長が学ぶ実践商品ロス対策」をご紹介します。

①千葉県安全安心まちづくり推進協議会 万引防止対策部

会制作の「万引き防止対策ガイドライン」が発行されました。〈全体版〉と〈携帯版〉とも、とても読みやすく、充実した内容です。制作にあたっては、警視庁、日本万引システム協会、当機構などが組織が協力しました。多機関連携によって誕生したこの秀作ガイドラインが多くの売場で、活用されることを願っております。

②千葉市に本部がある一般社団法人日本ロスプリベンション協会発行の「2014年版 店長が学ぶ実践商品ロス対策」は店長必携のQ&A集の紹介です。代表の秋元初心氏は商業界などの小売業向け専門誌に執筆されているコンサルタントで、当機構の会員です。一部を紹介させていただくと、下記のように知っているようでもうまく説明できない事柄がわかりやく解説されています。

- ・商品ロスは会計上どのように管理すべきでしょうか？
- ・理論在庫管理の精度を検証する方法はありますか？
- ・店舗内にて発生する犯罪にはどのようなものがありますか？

■2014.5.24

【高齢者対策小委】【防犯画像小委】【集団窃盗情報小委】が開催され活発な議論が交わされ、今後の方向性を明確に致しました。会場は当機構事務所がある会議室で行いました。

- ①高齢者万引対策に関する調査研究小委員会
5月19日（月）11:00～12:30
- ②防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会
5月20日（火）10:00～11:30
- ③集団窃盗等の情報の取扱いに関する調査研究小委員会
5月22日（木）10:00～11:30

■2014.5.24

港区6署合同の「万引き防止のための防犯責任者養成講座」が5月22日（木）港区男女平等参画センター「リーブラ」5階「ホール」で開催され、約60名の方が参加されました。出前型講座としては今回が5回目となります。講座に参加された皆様に於かれましては、ぜひともモデル店舗審査に申請していただくようお願いします。

■2014.6.7

6月3日（火）日本万引防止システム協会の通常総会が開催され、山村秀彦会長が退任され、新会長には戸田秀雄氏、新副会長には松本剛氏が選任されました。調査報告や不明ロス対策の関する記念講演が行われました。

2013年度万引防止機器ロス対策報告書 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20140508.pdf>

写真は山村前会長へ贈られたメッセージです。当機構関係者からも河上理事長、竹花副理事長などからのメッセージが記されております。



■2014.6.7 6月5日（木）商店街ニュースに「学校における万引き防止における指導・教育の調査結果」と「高

齢者万引きの調査委員会発足」の内容が掲載されました。教員の希望する万引き防止教育として、一位が被害に遭っている店主の話を生徒に聞かせる、です。また、警察との連携を望む声が多いのに対し、保護者やPTAとの連携姿勢が少ない点が非常に気になります。なお、当機構から継続して委員派遣をしております。

■2014.6.24 6月18日（水）の通常総会にて、榎三洋堂ホールディングス様より、587,070円のご寄付をいただきました。毎年ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

■2014.6.24 6月16日（月）と6月20日（金）に開かれた中学校のセーフティー教室に当機構の普及推進委員を派遣しました。さいたま市立指扇中学校の講演内容は警備新報に掲載されました。

- ・6月16日（月）葛飾区立双葉中学校 対象者全校生徒と保護者の皆様
- ・6月20日（金）さいたま市立指扇中学校 対象者全校生徒と保護者の皆様
- ・警備新報7月15日号 <http://www.manboukikou.jp/pdf/topic192.pdf>

■2014.6.24

平成26年度万引防止啓発のための壁新聞をまもなく全国の中学校と信用金庫に配布致します。

■2014.6.27 坂井昭宏先生（倫理学・北海道大学名誉教授、桜美林大学名誉教授）の論文『排除か共生か—高齢万引き再犯者への対応』「桜美林大学人文研究」第3号、桜美林大学人文学系 / 芸術・文化学系、2012年3月、1-17頁（抜粋）を、関係の皆様をいただき掲載致します。グローバリズムとリバタリアニズムが世界中に浸透しつつある、という現代社会の中にあって、万引防止への各種対策の是非について再考される内容となっております。ぜひ、ご一読ください。

- ・排除か共生か—高齢万引き再犯者への対応 <http://www.manboukikou.jp/pdf/topic188.pdf>

■2014.7.2 高岡市教育委員会（富山県）では、高齢者による万引防止に効果があった小学生の防犯標語を推奨されています。昨年に木津小の児童が考えた防犯用語を市内のスーパーで掲示して以降、万引の認知件数が減少した成果があったことから、他校での取り組みにも協力することです。

- ・富山新聞6月20日号 <http://www.manboukikou.jp/pdf/topic189.pdf>

■2014.7.3

6月26日（木）第3回「万引き防止シンポジウム」がグランドアーク半蔵門で開催され、約150名の方が参加されました。日本小売業協会土方会長がお話された、福島県万引き防止アドバイザー（老人クラブ）の活躍や上記の高岡小学生の防犯標語事例が、感銘力がありに心に残りました。

■2014.7.3 福岡県万引防止連絡協議会では、九州国際大学と連携し、万引き防止対策調査報告書「万引き対策の現状と課題～経営視点による万引き対策の必要性について～」を作成されました。

報告書はA4版、30ページで万引きの現状、店舗アンケートと店舗からのヒアリング結果を調査研究し、経営視点による万引き対策の必要性について、分かりやすい事例で説明されています。報告書は福岡県万引防止連絡協議会のHPで閲覧できます。

■2014.7.21 7月15日(火) 出前型「万引き防止のための防犯責任者養成講座」が八王子市生涯学習センターで開催され、約60名の方々が参加されました。その様子は警備新報7月25日(金)に掲載されました。

■2014.7.21 7月17日(水) 午後2時～4時にショッピングセンターチェリオ内でテナントの担当者向けに万引防止の研修会が行われました。本研修は、(一社)日本ショッピングセンター協会教育研修部の企画協力を実現したものです。当日は約30名の方々が研修に参加されました。研修の特徴は、画面を見ての問題点の気づき、ロールプレイング訓練です。



■2014.7.23 7月22日(火) 東京商工会議所の商業部会・商業卸売部会合同部会の会合が東京商工会議所国際会議場で開催され、竹花副理事が約150名の参加者の前で、万引防止の大切さを訴えました。当日発表した万防機構の活動資料 Vol.6 <http://www.manboukikou.jp/pdf/situation119.pdf>



■2014.7.25 7月24日(木) 福岡県警察本部の会議室をお借りし、「万引き対策の現状と課題～経営視点による万引き対策の必要性について～」を纏められた九州国際大学法学部教授の山本啓一先生にお会いしました。山本先生より、「お客様の視点で、万引対策を重要視している福岡のAスーパーは売上げも好調で万引も少ない。そのような好事例を集め、万引問題を経営視点で見ていない企業TOPに紹介することで、経営者の関心を高めたい。対策はコストではなく投資なのだから」と説明をいただきました。事務局からは、全国小売業万引被害実態調査の見直しをするにあたり、山本先生にアドバイスをお願い致しました。左から二人目が山本先生です。



■2014.7.25 全理事の確認後、7月24日(木)に内閣官房IT総合戦略室パーソナルデータ関連制度担当室宛に「パーソナルデータの利活用に関する制度改正大綱」に対する意見を提出しました。万引犯罪の現状は刑法犯全体の約10%になっており、その万引犯罪の現状は再犯性が極めて高い「高齢者の万引が増え続けている」、また、化粧品等特定の商品を狙った「集団万引等組織的な万引が増えている」現状の中で、流通・小売業間で「情報の共有化」が防犯上、不可欠となっています。万防機構からの要望(パブコメ) <http://www.manboukikou.jp/pdf/situation122.pdf>

■2014.7.30 7月25日(金) 福岡県万引防止連絡協議会主催の防犯責任者研修会(万引き対策)が博多サンヒルズホテル「瑞雲の間」で開催され約70名の方々が参加されました。「未然防止! 全国の万引対策好事例の紹介」というタイトルで普及推進委員が講師を務めました。

財 政 基 盤 の 強 化 に 向 け て の お 願 い

特別支援制度(※1)の第1号として、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合様より100万円の寄付とメッセージをいただきました。

『10年間の万防機構の活動を通じて、「万引きされない店づくり」のノウハウが浸透し、経営者およびスタッフの万引への意識が向上したことにより万引き被害は大きく減少

しました。地道な万防機構の活動を支えることが関係業界としての社会的責務であると考えます。専務理事若松修】
CDV-JAPAN様ありがとうございました。大切に活用させていただきます。

(※1) 特別支援制度については、ホームページの「寄付のお願い」をご覧ください。

発行：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 Tel.03-3355-2322 Fax.03-3355-2344
e-mail info8@manboukikou.jp URL <http://www.manboukikou.jp>